

一般社団法人輝水会
平成 31 (2019) 年度第 3 回通常理事会議事録

日 時 令和元年 9 月 17 日 (火) 18 時 45 分～
場 所 東京都新宿区新宿 3-38-1 号ルミネエスト 8F モクオラディキシーダイナー
理事総数 2 名
監事総数 1 名

出席理事 2 名 手塚 由美、小川 彰
欠席理事 1 名 木畑 実麻
出席監事 1 名 山中 章江
オブザーバー 1 名 笹島 正年

定款第 29 条の規定により、理事長手塚由美が議長席につき、過半数以上に当たる理事の出席を得ているので、本理事会は適法に成立した旨を告げ議事に入った。

【決議事項】

第 1 号議案 新規個人会員入会希望の件

以下 3 名の新規個人会員入会希望者について議場に諮ったところ、全員意義なくこれを承認した。

新規個人会員

阿部英雄氏 (前監事)、中里千恵子氏 (水中リハ受講者)、小黑健裕氏(水中リハ受講者)

第 2 号議案 スミセイコミュニティスポーツ助成金応募の件(別紙参照)

スミセイコミュニティスポーツ助成金申請について、全員意義なくこれを承認した。小川理事より、第 2 種助成金は複数団体による共同での申請になるため、今期は単独で第 1 種助成金の申請 (40 万円)が望ましいとの意見があった。10 月 4 日の締め切りに間に合うよう、小川理事が申請書を準備する。

【協議事項】

1. 収支予算書見直しと理事報酬の件 (別紙参照)

議長より別紙付属資料を示しながら説明があった。全員で協議し、今すぐにこの数字の達成は難しいとしても、目標として事業を行うことにする。当法人会計顧問のキュアノサポート(岡氏, 佐藤氏)に引き続き相談しながら事業の実現を行うことが望ましいとの意見が小川理事よりあった。

2. 講習会開催の件(小川理事より)

議長より別紙付属資料を示しながら説明があった。全員で協議し、講習会については、運動の体験型講習会、ワークショップ型など、いくつかの対象者に応じた計画をしていくことにした。場所は小規模であればエレメンタルオフィスを利用することも考えていく。

3. 公益認定申請時期の件

議長より別紙付属資料を示しながら説明があった。全員で協議し、公益認定については、3月の決算書を持ち東京都に申請する方向で考えていくことにした。本年度中に具体的な準備を行っていく。

4. 世田谷地域福祉の件(別紙参照)

議長より別紙付属資料を示しながら説明があった。全員で協議し、以下7点について当法人の考えを言語化し、HPに示していくことにした。とりわけ⑦の、当法人が『共有経済』のモデル法人として、『社会資源開発法人』に関し、以下3点の項目をカテゴリーとして明記していくのが良いとの意見が小川理事よりあった。

・当事者側からのサービスの開発（リハ・スポーツ、水中アビリティエクササイズ）

介護保険だけに頼らない、当事者にとって望ましいサービスとは何かを明確にすることが必要。

・総合相談（新しい社会の“結びつき”を育む学びの場の提供）

今後、当法人が行っていく講習会等の事業にも直結し、具体的に計画していくことを協議した。人材育成・研修センター等と連携し行うことと同時に、当法人が自ら講習会などを企画・実行していくことが必要である。

・情報発信（共有社会において、情報発信は不可欠）

今回、理事会に笹島氏がオブザーバー参加したことで、情報発信に関し、HPを現在のものに加え、より具体的に当法人の存在意義を発信していくことが重要であるとの共通認識を持った。

① 当法人が考える「健康」とは

② 権利と義務（努力）が「社会」である

③ 地域社会の中で「障害者」とは

④ リハ・スポーツの再定義—『共生モデル』

⑤ 当事者と支援者協同作業「与えられた支援」から「双方向で考える」

⑥ もう一つの「世田谷モデル」—高齢化に伴う障害の重度化

⑦ 社会資源開発法人

- ・ サービスの開発
- ・ 総合相談（エンカレッジ）
- ・ 情報発信

【報告事項】

1. HP リニューアルの件

議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。更新しながら引き続き HP の完成に向け整えていくことにした。

2. 「リハビリ・スポーツ講座」の件(別紙参照)

議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。初日は小川理事がアンケート調査を行う。

3. ホームタウンプロジェクト「ライフシフトプログラム」の件

議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。9月20日は本部事業所のある九品仏地域において、社協の取り計らいによってトミンハイムの共益スペースを利用し、当法人の「リハ・スポーツ」のDVDを紹介し、ライフシフトプログラム参加者にボッチャ体験を行った。「単純なゲームだが、誰にでも楽しめることが実感できた」との感想があった。10月5日(土曜日)の最終日に向け、各チームが提案内容のまとめに入る。

4. 世田谷区福祉人材育成・研修センター長(瓜生氏)への挨拶の件

議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。

5. 九品仏あんしんすこやかセンターとの連携の件

議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。この取り組みを12月に人材育成・研修センター管轄のもと行われる「世田谷福祉区民学会」で会員の露崎より口頭発表を行う。

5. 世田谷保健所(健康企画課)との協働の件

議長より別紙付属資料を示しながら報告があった。

以上

以上をもって本日の議事を終了したので20時20分、議長は閉会を宣した。

上記議事の経過の要領およびその結果を証するためこの議事録を作成し、出席理事及び監事は記名押印する。

令和元年9月17日

一般社団法人輝水会

議長・理事長 手塚 由美 法人印

理事 小川 彰 印

監事 山中 章江 印